神戸市における地域コミュニティ交通の現状と課題

西神ニュータウン研究会
第264回例会

公共交通は運転手不足や経営状況の悪化により、路線の休止や撤退が全国的に進みつつあります。神戸市においても、市街地での市バスの再編をはじめ、西区や北区の田園部で路線バスの休止が散見される状態にあります。

このような中、地域コミュニティ交通は、鉄道やバスが十分運行されておらず、生活交通に課題を抱えているエリアを対象に導入されており、地域住民の皆様による「乗って支える」取り組みのもと、バスやタクシーなどの運行事業者が提供する輸送サービスに対し、市が必要な支援を行っています。

今回は、地域コミュニティ交通の取組事例と実施するうえでの課題を紹介します。

講演者　田中 孝司 氏

（神戸市都市局交通政策課／モビリティ推進担当課長）

○日　時　2026年12月16日（水）18：00～19：50

○場　所　神戸市外国語大学サテライト セミナー室B（旧ユニティ）

○会　費　1,000円（2026年度下半期）
当日のみ参加　300円

事前申込や予約は必要ありません。

どなたでもご参加ください。
外大サテライト事務局に、例会に関する問い合わせはしないようにお願いします。



交通機関：神戸市営地下鉄西神・山手線「学園都市駅」南隣

西神中央、西神南、学園都市からなる西神ニュータウンを中心に、ニュータウンの過去、現在、将来について住民主体で自由に意見交換する西神ニュータウン研究会では、例会をほぼ毎月開催しています。
例会参加者には、「西神ニュータウン路上探検！おもしろマップ」をさしあげます。

西神ニュータウン研究会　https://seishin-ntken.net

地域コミュニティ交通の検討にあたって

地域・事業者・行政による取り組み

地域コミュニティ交通を実現するには、地域・運行事業者・神戸市がそれぞれの役割を果たし、互いに連携して取り組むことが必要です。







心がまえ -5つのポイント-

☑ 課題意識の共有

地域が一丸となって取り組むには、地域住民の課題意識の共有が必要です。「一部の人が必要としている」、「特定の人のためのもの」ではなく、地域の総意として地域コミュニティ交通が必要だという意識の上で取り組みましょう。

☑ 地域の主体性

地域コミュニティ交通は、地域の問題解決のため、地域の生活に密接に根差した運行を地域住民により検討し実現させるものです。地域住民が主体性をもって取り組むことが重要です。

☑ コスト意識

地域コミュニティ交通は、利用者の運賃収入で支えられています。運行経費と運賃収入の関係を意識した、経営者の視点も必要です。

☑ 乗って支える必要性

地域コミュニティ交通の安定的・継続的な運行には、地域住民の定期的な利用が不可欠です。マイカーではなく意識的に公共交通を利用するなど、乗って支える取り組みや利用啓発が重要です。

☑ 既存公共交通を活かす

既存の鉄道や路線バスとの共存が重要です。路線の重複を避け、既存の公共交通でカバーしきれない部分を地域コミュニティ交通が補うことを意識しましょう。